

みずほCustomer Desk Report 2016/08/26 号(As of 2016/08/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.51 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.57	1.1260	113.24	0.9672	1.3237	0.7608
SYD-NY High	100.62	1.1298	113.58	0.9687	1.3263	0.7639
SYD-NY Low	100.30	1.1260	113.12	0.9642	1.3170	0.7603
NY 5:00 PM	100.52	1.1289	113.44	0.9679	1.3193	0.7618
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.715/14.155		△25RR	0.360	Yen Call Over	
NY DOW	18,448.41	▲ 33.07	債券市場	日本2年債	-0.1810	0.4bp
NASDAQ	5,212.20	▲ 5.49		日本10年債	-0.0850	▲1.7bp
S&P	2,172.47	▲ 2.97		米国2年債	0.7894	2.8bp
日経平均	16,555.95	▲ 41.35		米国5年債	1.1605	1.6bp
TOPIX	1,304.27	▲ 2.44		米国10年債	1.5731	1.2bp
シカゴ日経先物	16,505	▲35.00	為替市況	独10年債	-0.0700	1.9bp
ロンドンFT	6,816.90	▲18.88		英10年債	0.5720	1.9bp
DAX	10,529.59	▲93.38		豪10年債	1.8540	1.2bp
ハンセン指数	22,814.95	▲5.83		USD/CNH	6.6685	▲ 0.0036
上海総合	3,068.33	▲17.55		ドルインデックス	94.70	▲0.09
USDJPY 3M Vol	12.93	▲0.30%	商品市況	CRB指数	186.243	0.50
USDJPY 6M Vol	12.25	▲0.10%		NY金	1,324.600	▲5.10
EURJPY 3M Vol	11.55	▲0.49%		WTI	47.330	0.56
EURJPY 6M Vol	11.30	▲0.30%		Dubai Spot	46.02	▲0.10

東京	オープン前に発表された対内・対外証券投資では、対内株式投資が2,296億円の売り越しとなるも、ドル円の反応は限定的で、東京時間は100.57レベルでオープン。この日は五・十日にあたり、仲値にかけては実需勢によるドル買い期待等にもサポートされ、ドル円は前日高値を上回る100.62まで上昇。しかし、仲値を通過すると動意薄となり、100円台半ばでの小幅レンジ推移が続く。その後も特段新規材料がない中、26日のイエレンFRB議長の講演を控えて様子見ムードが強く、東京時間のドル円は値幅26銭と非常に狭いレンジでの推移となり、100.37レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場も全般的に動意に乏しい展開となった。ドル円は100.37レベルでオープン。26日にイエレンFRB 議長の講演を控えていることや夏休み中のロンドン市場参加者がまだ多いこと等を背景に薄商い、100.30-100.49の小幅推移に終始し100.49レベルにてニューヨークに渡った。ポンドドルは1.3220レベルでオープン。CBI(英産業連盟)が発表した英8月小売売上高指数は+9(市場予想:0、前回値:▲14)と2月以来の高水準となったが、ポンドの買いは限定的となった。その後は調整の売りが散見され1.3189レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは1.1273レベルでオープン。独8月IFO企業景況感指数は106.20(市場予想:108.5、前回値:108.3)となり英国の欧州連合離脱の影響が指摘され2ヶ月連続で前月から低下した。しかし、英指標同様市場の反応は鈍く1.12台後半での小動きに終始し、1.1288レベルで海外へ渡った。(ロンドントルフリー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	ドル円相場は100.49レベルでNYオープン。朝方発表された米7月耐久財受注が予想を上回る強い内容となったことからドル買いが強まり、ドル円は一時100.62まで上昇した。しかし、NY株式市場が軟調で始まったことで、ドル円の買いは続かず上値は押さえられ、100.50付近での値動きとなった。午後に入り、26日のイエレンFRB議長の講演待ちといった雰囲気が高く、積極的な取引は手控えられ、ドル円は狭いレンジでの取引が続く100.52レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1288レベルでNYオープン。序盤、ユーロドルは一時1.13台を試す動きも見られたが、上値は押さえられ1.1271まで値を落とした。ただ、ユーロ/ポンドの上昇がユーロドルをサポートし、底堅い動きが続く1.1289レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・森谷

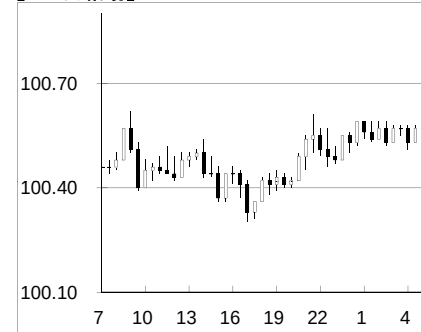
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月25日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感指数/現況/期待	8月 106.2/112.8/100.1	108.5/114.9/102.4
	21:30	米 耐久財受注/除輸送用機器・速報値(前月比)	7月 4.4%/1.5%	3.4%/0.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8/20 261K	265K
	22:45	米 サービス業/コンポジットPMI・速報値	8月 50.9/51.5	51.8/-
-	-	カンザスシティ連銀経済シンポジウム(ワイオミング州)-27日	-	-

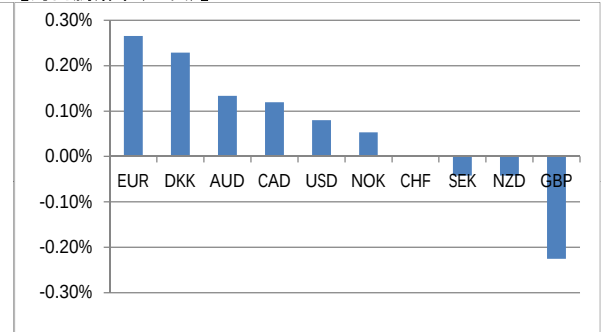
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月26日	8:30	日 全国CPI/除生鮮/除食料エネルギー(前年比)	7月 -0.4%/-0.4%/0.4%	-0.4%/-0.4%/0.5%
	8:30	日 東京CPI/除生鮮/除食料エネルギー(前年比)	8月 -0.4%/-0.4%/0.3%	-0.4%/-0.3%/0.4%
	15:00	独 GfK消費者信頼感	9月 10.0	10.0
	15:45	仏 GDP・速報値(前期比/前年比)	第2Q 0.0%/1.4%	0.0%/1.4%
	17:30	英 GDP・速報値(前期比/前年比)	第2Q 0.6%/2.2%	0.6%/2.2%
	21:30	米 GDP・2次速報(年率/前期比)	第2Q 1.1%	1.2%
	21:30	米 個人消費・2次速報	第2Q 4.2%	4.2%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	第2Q 1.7%	1.7%
	23:00	米 イエレンFRB議長、ジャクソンホール講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	8月 90.8	90.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.00-102.00	1.1120-1.1400	112.00-114.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円は小幅なレンジでの推移が継続。本日開催されるカンザスシティ連銀経済シンポジウム(ジャクソンホール)におけるイエレンFRB議長講演を控えて、様子見姿勢が強まる展開。昨日発表された米指標は、7月の耐久財受注が市場予想を大幅に上回り、新規失業保険申請件数が予想比減少するなど、良好な内容となったものの為替相場への影響は限定的となった。本日も東京時間日中はイエレンFRB議長講演待ちといった状況から値動きは限定的となることが予想される。一方で、海外時間は、注目を集めるイエレンFRB議長のコメント次第では、値幅を伴った動きとなるが見込まれる。足元、FRB高官によるタカ派寄りのコメントが見られる中、イエレン議長が利上げタイミングのヒントを示唆するようなことがあれば、ドル円も上昇することとなるだろう。